

ほほえみ

第74号

2025.8.1



▶ 4月より、重層的支援体制整備事業(※)の一環として、みんなの広場「おむすび」が始まりました。4月14日と21日に見学会を実施し、5月より毎週月曜日13時から17時まで、和室・体育館を開放し、高齢者・小学生・幼児・保護者・一般の方と沢山の皆様にご利用頂いております。

毎月1回土曜日に「おむすび」のイベントを開催しており、5月31日(土)の初めてのイベントでは「折り紙教室」を行いました。町内在住の方に講師を依頼し、折り鶴をはじめ、孔雀鶴や難易度を上げたお花作りなど様々な折り紙に挑戦し、参加者皆さん上手に作られていました。

6月より町の防災無線を通じてお知らせするなどの周知活動で少しずつ利用が増え、6月28日(土)のイベント「体育館で遊ぼう」では、ラダーゲッターやスリッパ飛ばしなど、広い体育館の中で思いっきり遊んでいただき、中学生の参加もあり賑やかなイベントとなりました。

7月12日(土)のイベントでは、北竜町地域おこし協力隊員の白石亜紀氏による「楽しく学んで遊べるSDGs」と題し、家庭で出るゴミを利用して「紙パックでうちわ」と「ペーパー芯でキャッチボール筒」を作成しレクリエーション大会を行いました。幼児から大人まで沢山のの方に参加をいただき、風船をうちわで飛ばしながらリレーを行ったり、うちわバレー等、午前と午後どちらも楽しく運動を行いました。今後も沢山の皆様の参加をお待ちしております。

※重層的支援体制整備事業とは、地域住民の複合的なニーズに応えるために市町村が包括的な支援体制を整備する事業であり、その一部を社会福祉協議会が受託事業として実施するものです。社会福祉協議会では「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を3つの柱とし、更に効果的、円滑に実施するため「多機関協働事業による支援」「アウトリーチ等を通じた継続的な支援」を新たに追加し、これらを北竜町と連携し一体的に進めていくものです。

北竜町における重層的支援体制整備事業

既存の分野別支援体制

分野別相談支援機関等

高 齢：地域包括支援センター
障がい：北空知障害支援センター
役場 こども未来・福祉係
子育て：子育て世代包括支援センター
子育て支援センター
生活困窮：役場 こども未来・福祉係

分野別地域づくり事業

- ・地域介護予防活動支援事業
- ・生活体制支援整備事業
- ・地域活動支援センター事業
- ・地域子育て支援拠点事業

◆生活支援コーディネーターの役割
(委託：北竜町社会福祉協議会)

◎高齢者分野の地域づくり事業

困りごとを抱える高齢者の生活支援につながる
地域資源の開発やボランティア等の育成とマッ
チング、高齢者対象の地域事業への協力



世代や属性を問わず、
必要な支援につなぐ包括的相談支援体制

コミュニティソーシャルワーカーの役割

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

潜在的支援対象者に接触し、必要な支援への結びつけと、地域住民やボランティア
等との協力のもと、継続的なケアを実施

☆関係機関との連携により、支援が届きにくい人へ支援を届ける
(対象者の発見と継続的な関わり)

多機関協働事業

既存の支援機関単独での解決が難しい困難事例に対し、関係機関同士の連携・ネッ
トワークづくりによる支援体制の構築

☆支援会議・重層的支援会議 支援プランの作成
各担当機関の役割分担で問題解決を図る

参加支援事業

地域の社会資源等を活用して社会とのつながりづくりに向けた支援を実施

地域づくり事業

◎分野を問わない地域づくり事業

属性・世代を問わず、困りごとを抱える地域住民の生活支援や居場所づくりにつな
がる機会や場所の創出に向けた支援を実施

◎高齢者分野の地域づくり事業

分野と問わない地域づくり事業と一体的に、困りごとを抱える高齢者の生活支
援につながる地域資源の開発やボランティア等の育成とマッチング、高齢者対
象の地域事業への協力



新規に取り組む事業を社協に委託

令和7年度社会福祉協議会事業

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（新規）

- ・相談支援を通じて（ケースにより）
- ・各町内会福祉委員等を通じた対象者の掘り起こし

多機関協働事業（新規）

- ・相談支援を通じて（ケースにより）
- ・ふれあい訪問
- ・支援会議・重層的支援会議の開催 支援プランの作成

参加支援事業

- ・碧水支え合いの会活動支援
- ・笑顔の会活動支援
- ・各老人クラブの育成・支援
- ・ボランティアの育成・支援（新規）

地域づくり事業（一部新規）

- ・あさがおくらぶ（一般介護予防事業）
- ・生活支援体制整備事業
- ・年代、分野を問わない居場所づくり（新規）
(みんなの広場「おむすび」)

※CSWとは、地域において生活の課題等を抱える人を把握・発見し、地域住民や関係機関と連携して課題の解決に努める役割を担う人のことです。個別支援と地域支援の二つに取り組み、個別支援では生活困窮者や社会的孤立等に苦しむ個人に対して適切な支援を行い、地域支援では住民同士が助け合える仕組みやネットワークを構築します。



北竜町社会福祉協議会 会長再任挨拶

北竜町社会福祉協議会 会長 山本剛嗣

町民の皆様におかれましては、日頃より社会福祉協議会の運営、事業活動に対しまして、ご理解とご協力、ご支援を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

この度、令和7年6月20日に開催されました社会福祉法人北竜町社会福祉協議会評議員会におきまして、任期満了に伴う役員改選が行われ、再度、私が会長に選任されました。向こう2年間、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、令和2年から続いております新型コロナウイルス感染症は、今なお収束の見通しが立っておりません。そのため、社会福祉協議会が実施している諸事業や業務においては、今後とも感染症拡大への対策と予防対策に取り組みながら、日々の活動・事業を推進して参ります。

北竜町では、令和7年度から3年間、地方創生2.0の事業に取り組み、町の活性化、魅力ある町づくりを推進しております。日本全体が人口の減少問題、高齢化が進行する中、社会福祉協議会を取り巻く環境は、年々厳しさを増し、その役割は益々重要視され、これまでに培った実績と基盤を継承し、北竜町、各町内会、関係機関との連携を更に深め、社会福祉協議会役職員が一丸となり、安心して安全な地域づくりの実現に向けて「第1期北竜町地域福祉実践計画」に基づき、実施して参ります。今後とも、町民皆様からの温かいご指導ご鞭撻をお願い申し上げる次第であります。

社会福祉法人北竜町社会福祉協議会評議員会



▶ 6月20日、福祉センターにて「社会福祉法人北竜町社会福祉協議会第1回評議員会」が行われました。役員、評議員36名の参加をいただき、令和6年度事業報告及び収支決算について審議し、承認を受けました。同時に北竜町社会福祉協議会役員改選が行われ、役員につきましては、再任となりました。

役員・評議員紹介

(敬称略)

社協役員		評議員（町内会選出）		評議員（団体選出）	
会長	山本 剛嗣	碧水	竹内 範行	民生委員協議会 会長	伊藤二三男
第一副会長	西山 孝則	美葉牛	森島 朝夫	身体障害者福祉協会 会長	山下 好晴
第二副会長	齋藤 勇治	板谷	大島 浩一	遺族会 会長	佐光 勉
理事	藤井 豊年	西川	澤田 正人	日赤奉仕団 委員長	藤谷 民子
理事	高橋 裕子	桜岡	錠者 敏	竜トピア 副代表	佐藤 靖雄
理事	安達 直子	和	山田 伸裕	ひまわりボランティア協会 会長	吉尾 政一
理事	植松 春雄	和東町	岩本 利男	保護司	前田 規文
理事	高橋 孝行	和町	谷内 康博	人権擁護委員	瀬戸 照代
理事	藤井 誠	和本町	南 秀幸	商工会女性部 部長	中山 雅恵
理事	錠者千代子	三谷	杉本 克裕	商工会青年部 部長	藤田 大輔
監事	松田 力			北竜建設業協会 会長	藤岡 靖士
監事	道下 浩			ひまわり長寿会連合会 会長	柴崎 和男
				JAきたそらち青年部北竜支部長	岩倉 竜矢
				JAきたそらち女性部北竜支部長	高橋 文子
				社会教育委員 副委員長	永井美保子

北竜町社会福祉協議会賛助会員紹介

(敬称略)

JAきたそらち北竜支所	北空知信用金庫北竜支店	株式会社北興建設	塩見建設株式会社
北竜土地改良区	株式会社北創	株式会社金山若林	大輪興業株式会社
北竜町商工会	藤岡妻神株式会社	平建設株式会社	北竜段ボール株式会社

■令和6年度社会福祉協議会・やわら保育園収支決算書

科 目	社 協 拠 点	保 育 拠 点	合 計
会費収入	523,800	0	523,800
寄附金収入	1,948,000	0	1,948,000
経常経費補助金収入	14,428,000	0	14,428,000
受託金収入	32,412,476	56,401,603	88,814,079
事業収入	2,900	0	2,900
共同募金配分金収入	854,370	0	854,370
介護保険事業収入	4,492,714	0	4,492,714
障害福祉サービス等事業収入	149,700	0	149,700
受取利息配当金収入	4,568	7,863	12,431
その他の収入	694,530	0	694,530
事業活動収入計	55,511,058	56,409,466	111,920,524
積立資産取崩収入	2,845,964	400,395	3,246,359
サービス区分間繰入金収入	175,000	0	175,000
その他の活動収入計	3,020,964	400,395	3,421,359
収入合計	58,532,022	56,809,861	115,341,883
人件費支出	39,251,938	47,462,270	86,714,208
事業費支出	5,963,150	2,804,388	8,767,538
事務費支出	7,673,136	5,630,523	13,303,659
共同募金配分金事業費	854,370	0	854,370
助成金支出	745,000	0	745,000
負担金支出	252,390	2,000	254,390
事業活動支出計	54,739,984	55,899,181	110,639,165
積立資産支出	3,560,417	910,680	4,471,097
サービス区分間繰入金支出	175,000	0	175,000
その他の活動による支出	56,621	0	56,621
その他の活動支出計	3,792,038	910,680	4,702,718
支出合計	58,532,022	56,809,861	115,341,883

■令和7年度社会福祉協議会・やわら保育園・特別会計収支予算書

科 目	社 協 拠 点	保 育 拠 点	特 別 会 計 拠 点	合 計
会費収入	534,000	0	0	534,000
寄附金収入	800,000	0	0	800,000
経常経費補助金収入	0	0	0	0
受託金収入	19,018,500	67,329,000	324,313,000	410,660,500
事業収入	0	0	0	0
共同募金配分金収入	744,400	0	0	744,400
介護保険事業収入	2,192,000	0	0	2,192,000
障害福祉サービス等事業収入	180,000	0	0	180,000
受取利息配当金収入	1,000	1,000	50,000	52,000
その他の収入	180,000	0	0	180,000
事業活動収入計	23,649,900	67,330,000	324,363,000	415,342,900
積立資産取崩収入	270,000	0	0	270,000
サービス区分間繰入金収入	175,000	0	0	175,000
その他の活動収入計	445,000	0	0	445,000
収入合計	24,094,900	67,330,000	324,363,000	415,787,900
人件費支出	19,392,000	55,762,000	0	75,154,000
事業費支出	1,239,600	2,785,000	324,363,000	328,387,600
事務費支出	1,639,900	7,799,000	0	9,438,900
共同募金配分金事業費	744,400	0	0	744,400
助成金支出	175,000	0	0	175,000
負担金支出	260,000	0	0	260,000
事業活動支出計	23,450,900	66,346,000	324,363,000	414,159,900
積立資産支出	469,000	984,000	0	1,453,000
サービス区分間繰入金支出	175,000	0	0	175,000
その他の活動による支出	0	0	0	0
その他の活動支出計	644,000	984,000	0	1,628,000
支出合計	24,094,900	67,330,000	324,363,000	415,787,900

社会福祉協議会内事業

■あさがおくらぶ



(※)地域において、高齢者の生活支援、介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす人のこと

▶あさがおくらぶとは、町から委託を受けた生活支援コーディネーター(※)である社協職員が行っている事業で、65歳以上の高齢者の方を中心に、元気に在宅生活を続けられるように様々な支援を行うサービスです。ストレッチやレクリエーションゲーム、定期的に深川市立病院の作業療法士や町の保健師による講話や体操等を行っており、利用者同士でトランプやボードゲームを楽しんだりと会場に足を運ぶことによって高齢者の閉じこもり防止にも繋げることを目的とします。和地区、碧水地区の2つの会場でそれぞれ週に1回の実施となっており、場所や時間等は下記の通りです。

- ・毎週水曜日 碧水支え合いセンター 10:00～14:00
- ・毎週木曜日 ココワ多目的ホール 10:00～14:00
- ・参加費無料(途中参加・途中退出自由)

送迎は行っておりませんので、各自でお越しくださいますようお願いいたします。

■碧水支え合いの会 (平成28年7月設立 碧水地域支え合いセンターを中心に活動中 会員38名)



▶地域住民の生活を助長し、共に支え合いながら安心して安全な地域づくりの推進と、地域の振興発展に寄与することを目的とし、碧水地区の地域の活動拠点として誰かがいて相談や会話ができるコミュニケーションの場として開放され、カラオケや囲碁、独り暮らしの高齢者を対象に昼食会を実施しております。開放日は下記の通りです。

- ・毎週 月曜日・水曜日・金曜日 碧水支え合いセンター 10:00～15:00

■笑顔の会 (令和2年1月設立 和地域支え合いセンターを中心に活動中 会員24名)



▶和地区の地域の活動拠点として、住民のコミュニティの場、相談の場、憩いの場として活動しております。活動目的は上記「碧水支え合いの会」と同様であり、気楽に立ち寄れて誰もが利用できる場として開放されています。月に2回ゲームの日を設け、オセロやトランプ、健康マージャン等で地域の住民同士の交流を図ります。

- ・毎週 月曜日・水曜日・金曜日 ココワ多目的ホール 10:00～12:00

■ふれあい訪問



▶令和6年度より、85歳以上のお一人暮らしをされている方々を対象の「ふれあい訪問」がスタートし2年目となりました。北竜町社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金の助成を受け当事業を展開しており、社協職員が対象世帯へ定期的に訪問し、日常生活の中での悩み事を傾聴すると同時に安否確認を含め、高齢独居世帯の孤立化等を防止します。今年は訪問時にティッシュを贈呈いたしました。

生活にお困りの方へ

▶北竜町社会福祉協議会では、北海道社会福祉協議会が実施している各種の「生活福祉資金」貸付申請の受付と相談を行っております。経済的自立と生活の安定を図ることを目的とした公的な貸付の制度となっており、役場、民生委員などの関係機関とも連携しながら対応しております。相談日開設日時は以下のとおりです。

開設日 8月29日(金)・9月26日(金)・10月24日(金)・11月28日(金)

ご相談の際には、事前に☎34-2435まで、ご連絡をお願いいたします。

心温まるご厚志ありがとうございました

社会福祉増進のため有効に活用させていただきます。

令和6年度寄付金（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（敬称略）

氏名	寄付名目	氏名	寄付名目
久米谷和幸	離町に際して	垣原 典章	故 垣原信子さんの生前のお礼として
伊藤 秀司	故 伊藤和子さんの生前のお礼として	夏井 和彦	故 夏井隆一さんの生前のお礼として
高田 秋光	故 高田健太郎さんの生前のお礼として	高田 義勝	離町に際して
畑 博子	故 畑一郎さんの生前のお礼として	川本 隆幸	故 川本松雄さんの生前のお礼として
伊藤二三男	故 伊藤ミツ子さんの生前のお礼として	中村千鶴子	故 中村静雄さんの生前のお礼として
高橋 代子	故 高橋宗二さんの生前のお礼として	高畑 清一	故 高畑貴美子さんの生前のお礼として
佐々木秀博	故 佐々木喜代子さんの生前のお礼として	松本 洋子	故 松本勉さんの生前のお礼として
林 良一	故 林花枝さんの生前のお礼として	吉本 米子	故 吉本一夫さんの生前のお礼として
大前 慶則	故 大前喜久子さんの生前のお礼として	藤井 光子	故 柴山ヨシさんの生前のお礼として
堂前 和雄	故 堂前邦子さんの生前のお礼として	小野 敏	故 小野知子さんの生前のお礼として
鴨野 敏子	故 鴨野政雄さんの生前のお礼として	中村 道人	故 中村利弘さんの生前のお礼として
佐崎 謙次	故 佐崎シズ子さんの生前のお礼として	阿部 妙子	故 阿部克彦さんの生前のお礼として
杉山 泰裕	故 小玉美枝さんの生前のお礼として	村上 光浩	故 村上良子さんの生前のお礼として
橋本 剛	故 橋本邦子さんの生前のお礼として	松浦 知代	故 松浦敏弘さんの生前のお礼として
山田 和昭	故 山田妙子さんの生前のお礼として	佐藤 卓夫	故 佐藤喜市さんの生前のお礼として
鬼原 秀幸	故 中村俊二さんの生前のお礼として	沖野 和子	故 沖野昭夫さんの生前のお礼として
井沼 賢	故 中川アキ子さんの生前のお礼として	杉本 克裕	故 杉本武治さんの生前のお礼として
城岡 實	故 城岡和子さんの生前のお礼として	JA女性部	福祉活動資金として
西山 孝則	故 西山和子さんの生前のお礼として	匿名希望	2件
池川 勝	故 池川ツル子さんの生前のお礼として		

■リングプル回収を実施しております

▶北竜町社会福祉協議会では、環境運動の一環として、リングプル回収活動を実施しております。

この活動は、アルミ製リングプルを一定量集めて換金し、そのお金でアルミ自走式車いす等を購入し福祉活動に役立てることを目的とした活動です。集まったリングプルを再利用し、新たなアルミ製品を作ることによって環境保護にも努めます。集めていただいたリングプルは北竜町社会福祉協議会へ直接お持ちいただくか、持ち込みが困難な方はご連絡ください。皆様のご協力お待ちしております。

アルミ製車いす1台＝リングプル700kg（ドラム缶約7～9杯分）



この社協だより「ほほえみ」は、赤い羽根共同募金の配分により発行されています。